

REASON
...
1

いつでも海を眺めて暮らしたいから

「海の景色と心が弛む空気の匂い。仕事がハードでも、帰るだけでスイッチがオフされるんです」。学生時代からの遊び場だった湘南に家を建てるにあたり、Cさん夫妻が最も重視したのが海の存在感だった。「ほぼ見る真ん中」という海をとにかく圧倒的に感じたいと、海岸沿いの土地を選び、リビングの窓は3方向を全面ガラス張りに。部屋のどこにいても海が目飛び込んでくるパノラマビューを実現した。「赤潮が出たから、今夜は海が光るね」とCさん。朝昼夜と表情を変える海が、生活にメリハリを与えてくれる。

せっかく家を建てるなら、細部までとことん自分らしく。とことんリラックスできる専用の空間がほしい？仲間を呼ぶためのパーティールームをつくりたい……？注文住宅なら、憧れていた夢の暮らしを叶えてくれるはずだ。今回は、住まいで自身の夢を実現した人たちを日本中でリサーチ。どんな暮らしがしくてどんな家生まれたのか、54の理由とともに、ユニークなアイデアを一挙に見ていこう

構成・取材・文/菅原信子、山口優希、末次佑希恵(ユーフォリアファクトリー)(P●●～●●)、松林ひろみ(P●●～●●)、工藤花衣(P●●～●●)、取材・文/吉州正行(P●●～●●、●●～●●)、撮影/橋本裕貴(P●●～●●、P●●～●●、●●～●●、●●～●●)、山崎智世(P●●～●●、●●～●●)、安彦幸枝(P●●～●●、●●～●●)、元家健吾(P●●～●●)、古末拓也(P●●～●●、●●～●●)、平野太呂(P●●～●●、●●～●●)、ヘアメイク/シバタロウ(P●●～●●)、菅野史絵(P●●～●●)、撮影協力/旭化成ホームズ(ヘーベルハウス)浜田山住宅展示場(P●●～●●)

■ 注文住宅を建てたくなる54の理由

日本中で出合った夢の家



REASON
3

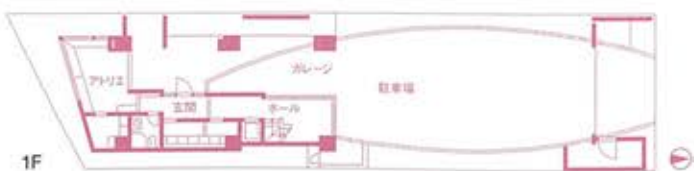
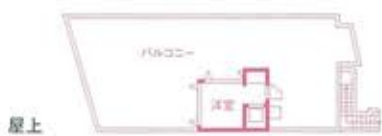
家族水入らずで
ほっこり過ごしたいから

冬に夫婦の居間と化すのが2階の和室。“おこもり”感が味わえるようにと掘りごたつにした。ちなみに2階はベッドやクローゼットなど生活に必要な設備が全て備わる“小さな家”のようなフロア。「忙しい平日は2階だけで完結し、ホームパーティーのときはゲストを3階へ。あわてて掃除しないで済むし便利です。冬はこの和室で鍋をつつくのが定番。「ミニマムな空間で過ごす時間はとてもほっとします」

REASON
4

家の中でも愛車を
愛でていたいから

生粋の車好きであるCさん。「100%電気で走るエコカーで、乗り心地もデザインも気に入っている」という愛車を眺めるために、玄関スペースの壁を全面ガラス張りに。こだわりのシェリーチェアを置いて、くつろげる空間にした。ここでゲストと談笑することもあるという。お気に入りの椅子に座ってゆったりと愛車と過ごせば、ドライブの計画が次々と浮かんでくる。



DATA

家族構成：夫、妻
延床面積：290.66㎡
設計：アーネストアーキテツ

PICK UP IDEA



“後から追加”が
難しいものを優先

以前のマンション住まいで、大規模なリフォームの難しさを痛感したCさん。そのため基礎部分の杭打ちや屋上のお風呂、1階から屋上までのホームエレベーターなど、“今後必要かもしれないが後付けできない設備”については優先的に取り入れた。「多少コストがかかって、日々の生活や安全を考えれば妥協しなくて正解でした」

ジェットバスにベッド、南国感あふれる植物。まるでリゾートホテルのような“くつろげる屋上”は、夫妻のお気に入りの場所だ。「とにかく開放感がはしくて。南国リゾートによくある、壁のない東屋を参考にしました」とCさん。「5~11月の間はほとんど毎日ここで過ごします。昼間に海や山を眺めながらジェットバスに入って、そのままベッドに寝転ぶ。なによりも癒やされる時間です」



ソテツなど南国風植物でリゾート感をアップ。「庭師のすすめで花や芝など繊細なものは人工のものを使い、一年中管理をしやすくしています」



REASON
2
リゾート気分
でリフレッシュ
したいから



日本中で
出合った
夢の家

●神奈川県 C邸